

◇運営委員挨拶

運営委員に就任して

姫路工業大学 理学部
伊藤 正久

この度、はからずもSPring-8利用者懇談会の運営委員をおおせつかりました。まさか私のような者が選挙で選ばれるとは思ってもありませんでしたので、まさに青天の霹靂です(漢字はこれでよいのでしょうか)。姫工大理学部というSPring-8のすぐそばに勤務しておりますので雑用を引き受けなさい、とのことだろうと理解しております。

実は私が、“光彩”に顔を出させて戴くのはこれが初めてではありません。編集幹事をされている圓山さん(岡山大)が昨年の今ごろ海外出張をされていたおり、その代役をおおせつかり、半年の間編集幹事代理をさせて戴いておりました。全くおぼつかない代理で昨年の編集幹事長の難波先生(神戸大)と事務局の佐久間さんには編集のイロハから教えて戴きました。この場をお借りして、難波先生、佐久間さんに御礼申し上げます。半年ほどでも光彩の編集の仕事を致しておりますと、次の号はこの記事で何ページ稼げる、などという皮算用をするようになります。特に年度替わりのときは“新運営委員に就任して”という記事でページが稼げるので何人の方が新運営委員に就任されたか、に注目しておりましたが、はからずもその順番が当方に回ってきて今その記事を書かされているという次第です。

さて、皆様もご存知のようにSPring-8はこの10月からのビーム供用を目指しています。昨年夏のライナックのコミッショニングに始まり秋のシンクロトロン、そしてこの春の蓄積リングのコミッショニングと順調に立ち上がってきました。蓄積リングには、一発で電子ビームが入射されたと伺っております。この見事なまでの立ち上がりの順調さは、SPring-8加速器関係者の皆様のご努力の賜物であることは言をまたないところであります。

この加速器の順調な立ち上がりを受け我々ユーザーもあわただしさを増しております。私が参加しております磁気散乱・吸収サブグループが使用する予定のBL39XUのビームラインでもこの4月には回折計が納入されいよいよ現地での調整が始まります。そのためには実験ホールに入る必要がありますが、実験ホールは既に放射線管理区域に指定され安全管理室の厳重な管理下に入っています。SPring-8の放射線作業従事者になる必要がありますが、そのためには所属機関での健康診断および放射線教育訓練、および、SPring-8での放射線講習を受けなければなりません。4月から5月にかけて急いでこれらをクリアーし6月初めにやっと立ち入り許可証が与えられ、実験ホールでの作業ができるようになりました。これから10月にかけていよいよ実験の準備に本格的に入ることになります。(放射線作業従事者になるための詳細な手続き、手順に関しましては各ビームラインの担当者、および、高輝度光科学研究センターの安全管理室にお問合わせ下さい。)

加速器関係者の御努力を見習って、われわれユーザーも頑張らなければなりません。今年10月、ビーム供用開始後には直ちに実験に入れるよう入念な準備を進める必要があります。微力ながら運営委員として、いくらかでもその環境作りに貢献できればと思っております。

SPring-8 雑感

姫路工業大学 理学部

川村 春樹

大学の窓から鞍点にあるテクノ中央交差点といくつかの建物を挟んで北西4kmにSPring-8の建物群が見えます。夜は建物に明かりが灯り、交差点の辺りは車のライトが帯を成し、夜景らしきものを感じさせるようになってきました。10年程前にこの地を見学に訪れたとき、又、6年前姫路工大理学部のカンパスが開設された当時も、夜は漆黒の闇で、車のライトに浮かび上がる光といえば、狸の目玉だけという状況でした。現在は昼間人口約3,400人、夜間人口1,000人弱となり、軽四輪のたこ焼き屋の姿も見かけるようになりました。

SPring-8の供用開始も間近に迫り、連休中の公開期間に原研内海渉氏の案内で施設の見学をさせて頂き、秒読みへの胎動を実感すると共に、順調な立ち上がりを期待している所です。更に、ビームラインの増設と順調な稼働が続けば、遠い筑波まで重い荷物を抱えて実験に行かなくてもよくなるのかと思いつつ筆を取っています。

しかし、ここまで書いてすこし筆が滑ったかなあと感じています。それは、“8GeVでなければ出来ない仕事を”と云うSPring-8のキャッチ・フレーズの重みです。他の放射光施設でも可能な実験はやはりそちらで行うべきなのか……。しかし、まさか一連の実験の場合を二つに分けるのは非現実的だし、“放射光なら出来る仕事”もたとえ歓迎はされずとも、隙間があれば……。等と反問しました。筑波までは遠いなあと感じて居られる関西以西のユーザーやPFだけでは既にマシン・タイムがタイトであると感じて居られるユーザーも決して少なくないと思われます。SPring-8がどの様に利用されるかは、我々ユーザーの力量にも大きく掛かっているのですが、“社会思想史は大衆の狡猾な選択に因る”と云う言葉の含蓄を噛みしめているところです。

何れにしろ兵站線上に位置する大学に籍を置く者にとってSPring-8の活況は大きな刺激になりますし、遠来のユーザーの方々のお役に立てることもあるかもしれないと感じつつ魔法の光（地元向けのキャッチ・フレーズ）の出現を待ち望んでいる今日この頃です。